施策・事務事業マネジメントシート【令和6年度】

1 施策の基本情報

施策名		12 生涯学習のまちづくり
対象		市民
目的		生涯にわたり学習し、学んだことをまちづくりに生かす
	施策の方向	誰もが生涯を通じて,自由かつ主体的に学習に取り組むことができる環境を予実させるとともに,一人一人の知識や経験,学びの成果を生かし,交流を深めながら,自分らしく暮らせるまちを目指します。



17 パートナーシップで 目標を達成しよう

2-1 施策全体の考察①(施策の目的,方向に対する考察)

施策の目的,方向に対する考察

- ・専門の相談員を配置する生涯学習情報コーナーでは、多様な学びに関する情報提供及び相談事業を通して、市民の |学習活動の支援に取り組む中、サークルガイドブックの発行や生涯学習情報コーナーウェブサイトの運営のほか、調 布FMや市公式SNS等を活用し,より広く市民への周知を図ることができるよう創意工夫を重ねながら効果的な情報発信に取り組んだ。引き続き,"人生100年時代"を見据え,幅広い年代に向けた多様な分野における学びの きっかけづくりや、一人一人が、性別や国籍、障害の有無等に関わらず、それぞれの興味・関心や生活スタイルに応 じて学習し,その成果をまちづくりに生かすことのできる場の確保や活動の支援に取り組む必要がある。 ・今後も市民の生涯学習・文化活動・日常生活に欠かせないインフラとして、市民に身近な図書館づくりに努めつ
- つ、生活を支え、暮らしに役立つ魅力的な図書館であり続けるために、各種図書館サービスを実施・充実させる。 ・市民からの多様化する資料要求に的確に応えるため、図書・雑誌・地域資料・行政資料・映画資料・電子資料・視 |聴覚資料などの資料を収集・整理・提供・保存するほか,図書館相互貸借制度などを通して、国・都道府県・市区町 村立及び大学図書館と緊密に連携し、市民への資料提供を行う。
- ・高架下資料保存庫の除却に伴い,20万冊の資料保管場所の確保について庁内関連部署と協議を行い,貴重な市民 の共有財産を適切に保存・提供できるようにしていく。
- ・老朽化した施設の改修・建替えを計画的に進めていく。
- ・障害者差別解消法,文字・活字文化振興法,読書バリアフリー法等の施行に伴い,障害の有無や年齢にかかわらず だれでも図書館を利用できるよう体制を整える必要がある。

2-2 施策全体の考察②(まちづくり指標の推移/考察)

まちづくり指標	単位	基準値 (基準年度)	実績値 (R 5年度)	目標値 (目標年度)	指標の推移 (※)	考察
1年間に生涯学習をした人の割合		37.5 令和4年度	29.7 令和5年度	40.0 令和8年度	▼	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により,後期基本計画期間内における学習 活動・学びの機会が制限を受けたことが実績値に反映したものと捉えている。 ・生涯学習に関する市民の関心を高めるため,広報やSNSを通じで周知を進める。
社会教育施設の満足度		(図書館)80.7 (公民館)74.4 令和4年度	(図書館)82.2 (公民館)74.0 令和5年度	(図書館)85.0 (公民館)80.0 令和8年度	0	・市民の読書活動を幅広く,丁寧に支援したことにより,満足度は上昇している。今後も 市民のニーズを捉え,利用促進に努める。(図書館)
生涯学習情報コーナーの相談件数		779 令和3年度	863 令和5年度	850 令和8年度	0	・近年コロナの影響もあり相談件数は横ばいであったが,徐々に回復し目標値を上回った。 ・SNSや庁舎内のデジタルサイネージ等で広く市民へ生涯学習について周知する。
学習の成果をまちづくりに生かしている市民の割合		13.8 令和4年度	15.3 令和5年度	25.0 令和8年度	0	・近年コロナの影響により市民割合は減少傾向にあったが,徐々に回復し昨年度を上回った。 ・市民や団体がそれぞれの学習成果を発表する機会の提供に努める。

※ ◎:目標達成 ○:目標値を未達成(前年度より向上した) ▼:目標値を未達成(前年度より低下した) ⇒:目標値を未達成(前年度と同じ又は前年度数値未把握) - : 数値未把握(調査未実施など)

3 施策を構成する基本計画事業等の取組実績/今後の方向

■12-1 学びのきっかけづくり

No	基本計画事業名	R 5 取組実績	R 5 取組説明	今後の方向	今後の取組の方向
46	学習活動及びまちづくり への参加の促進	✓ 計画どおり 計画遅れ 計画前倒し	・生涯学習情報コーナーにおける情報発信及び相談の実施 (ウェブサイトの運営、調布FMを活用した定期的な情報提供) ・生涯学習出前講座(市役所編・協力団体編)の実施 ・生涯学習サークル体験事業の実施 ・サークルガイドブックの発刊 ・地域デビュー推進委員会との協働による地域デビュー事業 の実施	現状継続 対象性改善 対象性改善 財政面改善 参加と協働改善	・生涯学習情報コーナーにおける情報発信及び相談の実施 (ウェブサイトの運営、調布FMを活用した定期的な情報提供) ・生涯学習出前講座(市役所編・協力団体編)の実施 ・生涯学習サークル体験事業の実施 ・サークルガイドブックの発刊 ・地域デビュー推進委員会との協働による地域デビュー事業の実施

基本計画事業以外の主要な取組実績	今後の取組の方向
①ブックスタート事業の実施(「3・4か月児健康診査」において「赤ちゃんは絵本がだいすき!」1,571部配布。 ブックスタートパック「1歳6か月児健康診査」で1,568部配布,子ども家庭支援センターすこやか主催の「コロコロ パンダ」においてブックスタートに関する講話の実施。58人29組参加) ②乳幼児から成人まで各世代に向けたガイダンスや各種講座,講演会,読書会等の実施により,市民の学習機会を充実させ るとともに読書活動を推進	

■12-2 学べる機会の充実

No	基本計画事業名	R5取組実績	R 5 取組説明	今後の方向	今後の取組の方向
47	市民の読書・調査活動への支援	✓ 計画どおり計画遅れ計画前倒し	・第4次調布市子ども読書活動推進計画事業の推進 ・資料・情報の選定、収集、整理、提供、保存の実施 ・利用支援サービスの提供(250人登録) ・中・高校生世代に対し、アンケート調査の実施 ・利用者・未利用者に対し、アンケート調査の実施 ・図書館公式X(旧Twitter)による情報提供の開始	型状継続 対 有効性改善 対 効率性改善 財政面改善 参加と協働改善	・ICタグシステム導入による、図書館での資料貸出における、自動貸出機や予約本受取コーナーによるセルフサービス化と、利用者のプライバシー保護に配慮したより便利で快適に利用できる図書館サービスの提供・アンケート結果及びICタグ導入に伴うサービス・業務の見直し実施・利用支援サービスの提供・第4次調布市子ども読書活動推進計画事業の推進・中・高校生世代に対する積極的な利用促進
基本計画事業以外の主要な取組実績					今後の取組の方向
②宮 <i>0</i> ③老林	①「調布市公共施設マネジメント計画」に基づくこれからの図書館整備のための基本的な考え方を整理 ②宮の下分館について,アンケートや市民意見交換会,第五中学校生徒との意見交換会を実施 ③老朽化した佐須分館の屋上防水と外壁,外階段等の改修,神代分館の外壁,階段等の改修工事,若葉分館のおはなし室の 環境整備実施				F分館及び緑ケ丘分館の計画的な移転・建替え 余却後の移転先・代替施設について検討

■12-3 学びの活動支援

基本計画事業以外の主要な取組実績	今後の取組の方向
	①生涯学習情報コーナーにおける情報発信及び相談の実施(ウェブサイトの運営,調布FMを活用した定期的な情報提供) ②生涯学習出前講座(市役所編・協力団体編)の実施 ③生涯学習サークル体験事業の実施 ④サークルガイドブックの発刊 ⑤地域デビュー推進委員会との協働による地域デビュー事業の実施

■12-4 まちづくりへの学びの成果の活用

基本計画事業以外の主要な取組実績	今後の取組の方向
	①生涯学習情報コーナーにおける情報発信及び相談の実施(ウェブサイトの運営、調布FMを活用した定期的な情報提供) ②生涯学習出前講座(市役所編・協力団体編)の実施 ③生涯学習サークル体験事業の実施 ④サークルガイドブックの発刊 ⑤地域デビュー推進委員会との協働による地域デビュー事業の実施

4 施策の推進,成果向上の視点(4つの視点)を踏まえた令和5年度の取組実績及び令和6年度以降の具体的な取組

デジタル技術の活用	共創のまちづくり
・SNSや市庁舎のデジタルサイネージなどのデジタル技術を活用することで、広く市民と生涯学習に関する情報を共有し、学びの機会の充実につなげることができるよう効果的な情報発信について検討する。・生涯学習情報コーナーのホームページや積極的なアウトリーチにより、生涯学習に取り組む市民が、出前講座等の利用や多様なサークル活動等の地域活動に参加することができる環境づくりに取り組む。・地域デビュー推進会員会用にPCと携帯のリース契約をおこない、SNS等のデジタル技術の活用推進を行う。・図書館公式X(旧Twitter)による情報提供の開始【令和5年度】・「映画資料所在地情報検索システム(JFROL)」への登録【令和5年度】・ICタグシステムの導入による、図書館資料の貸出手続のセルフサービス化・図書館利用登録時の説明の動画作成	講座を開催する相互友好協力協定の締結大学等の多様な主体との連携により、多彩な生涯学習に取り組む機会を創出
脱炭素社会の実現	フェーズフリー
・脱炭素社会実現の重要性やそのための取組を広く市民に周知し,市民一人一人が脱炭素社会の実現について考え,行動できるよう,出前講座などによる環境学習の機会の充実を図る。	・出前講座等を通じて,フェーズフリーに関する学びの機会の充実を図る。